

1 献立写真またはイラスト (お盆に配膳された一人分)



2 献立のねらい

献立名	県産品を使用するにあたって工夫した点, PR
コッペパン 牛乳 鮭と大豆のグラタン 牛久野菜サラダ カレースープ 牛久市産ブルーベリーケーキ	<p>【鮭と大豆のグラタン】茨城県産大豆をグラタンに入れて、子どもでも食べやすくしました。鮭や大豆と相性の良いみそを使用し、料理のこくを深めるとともに、学校のすぐ近くにあるヤマイチ味噌さんの味噌を使用することで、地域を知ることにもつながります。</p> <p>【牛久野菜サラダ】料理の名前に「牛久」を付けることで、牛久市で生産されている野菜を知り、地場産物を給食で使用していることを印象に残すようにしました。すぐ近くの農園で収穫されているヤーコンを使用して、食感も楽しめるようにしました。</p> <p>【牛久市産ブルーベリーケーキ】牛久市産のブルーベリーは旬の季節ではありませんが、冷凍を使用し、10月の目の愛護デーとも関連して、生徒の好きなケーキにしました。</p>

3 この献立を使用して学校行事, 授業, 特別活動, 地域等と連携したところ(したいところ)

・地場農産物を多く活用した献立を通して、自分たちが住む牛久市でどんな農産物が生産されているかを知れるようにしています。牛久市で生産されている農産物を地域ごとにイラストで記したマップを掲示したり、校内放送で説明したりしています。

・牛久市にはUSHIKU野菜オーケストラという野菜のキャラクターがあり、それを活用して、食に関する指導に取り組んでいます。この献立に関連することでは、献立表や給食だよりなどにキャラクターを登場させたり、USHIKU野菜オーケストラの歌を校内放送で流して、牛久市産野菜の普及に努めています。

・8年生が、隣接する保育園児とさつま芋の苗植えと収穫を行っており、そのさつま芋を使用することもできます。

・牛久市の農業政策課と連携して、牛久市産のブルーベリーの冷凍品を手配していただき、給食に使用することができました。牛久市でブルーベリーを栽培していることを知るよい機会となります。



○文章とともに、写真やイラスト等の資料を載せてください。